



アーキテクチャ図

AWS での最新のデータ分析リファレンス アーキテクチャ



AWS での最新のデータ分析リファレンスアーキテクチャ: アーキテクチャ図

Copyright © 2026 Amazon Web Services, Inc. and/or its affiliates. All rights reserved.

Amazon の商標およびトレードドレスは Amazon 以外の製品およびサービスに使用することはできません。また、お客様に誤解を与える可能性がある形式で、または Amazon の信用を損なう形式で使用することもできません。Amazon が所有していないその他のすべての商標は Amazon との提携、関連、支援関係の有無にかかわらず、それら該当する所有者の資産です。

Table of Contents

AWS 図の最新のデータ分析リファレンスアーキテクチャ i

での最新のデータ分析リファレンスアーキテクチャ AWS i

詳細情報 2

図の履歴 3

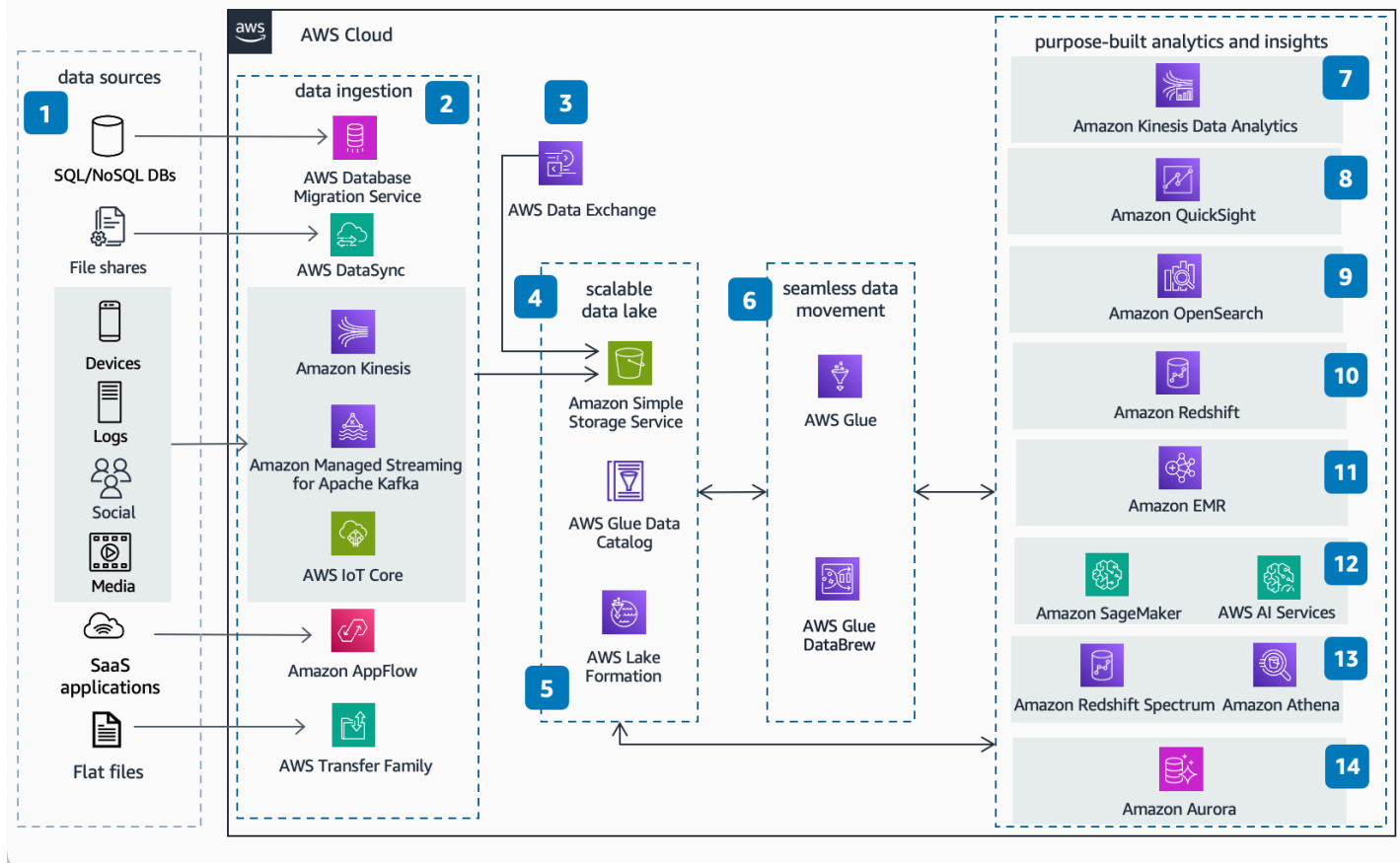
..... iv

AWS 図の最新のデータ分析リファレンスアーキテクチャ

公開日: 2022 年 5 月 31 日 ([図の履歴](#))

このアーキテクチャにより、お客様は Modern Data Analytics アプローチを使用してデータ分析パイプラインを構築し、データからインサイトを引き出すことができます。

での最新のデータ分析リファレンスアーキテクチャ AWS



1. データは、エンタープライズ、SaaS アプリケーション、エッジデバイス、ログ、ストリーミングメディア、フラットファイル、ソーシャルネットワーク全体の複数のデータソースから収集されます。
2. データソースのタイプ、AWS Database Migration Service (AWS DMS)、AWS DataSync、Amazon Kinesis、Amazon Managed Streaming for Apache Kafka、AWS IoT Core、Amazon AppFlow に基づいて、データをデータレイクにAWS Transfer Familyに取り込みます AWS。

3. AWS Data Exchange は、サードパーティーのデータをデータレイクに統合します。
4. AWS Lake Formation はスケーラブルなデータレイクを構築し、Amazon S3 はデータレイクストレージとして使用されます。 は一元化されたメタデータリポジトリAWS Glue Data Catalogです。
5. AWS Lake Formation また、統合ガバナンスにより、セキュリティ、アクセスコントロール、監査証跡を一元管理できます。
6. AWS Glue および は、複数のデータストアとデータレイク間でデータをAWS Glue DataBrewカタログ化、変換、強化、移動、レプリケートします。
7. Amazon Managed Service for Apache Flink は、ストリーミングデータをリアルタイムに変換および分析するために使用されます。
8. Quick は、機械学習 (ML) を活用したビジネスインテリジェンスを提供します。
9. Amazon OpenSearch Service は運用分析を提供します。
- 10Amazon Redshift はクラウドデータウェアハウスです。フェデレーティッドクエリを使用すると、運用データベース、データウェアハウス、データレイク間でデータをクエリおよび分析できます。
- 11Amazon EMR は、オープンソースツールを使用して大量のデータを処理するためのクラウドビッグデータプラットフォームを提供します。
- 12Amazon SageMaker AI および AWS AI サービスは、ML モデルを構築、トレーニング、デプロイし、アプリケーションにインテリジェンスを追加できます。
- 13Amazon Redshift Spectrum と Amazon Athena は、インタラクティブなクエリ、分析、処理機能を有効にします。Athena は、データとAWS Glueデータカタログの Apache Iceberg をサポートしています。
- 14Amazon Aurora は、グローバル規模で高いパフォーマンスと可用性を提供します。Aurora は Amazon Redshift とのゼロ ETL 統合をサポートしています。

詳細情報

詳細については、「」を参照してください。

- [AWS アーキテクチャアイコン](#)
- [AWS アーキテクチャセンター](#)
- [AWS Well-Architected](#)

図の履歴

このリファレンスアーキテクチャ図の更新について通知を受け取るには、RSS フィードをサブスクライブします。

変更	説明	日付
初版発行	リファレンスアーキテクチャ図が最初に公開されました。	2022 年 5 月 31 日

Note

RSS 更新をサブスクライブするには、使用しているブラウザで RSS プラグインが有効になっている必要があります。

翻訳は機械翻訳により提供されています。提供された翻訳内容と英語版の間で齟齬、不一致または矛盾がある場合、英語版が優先します。